

保証書

この製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げ
の販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。

裏面の保証規定により、無料で修理いたします。

※印欄の記入のない場合には、有効とはなりませんから、必ず記入
の有無をご確認ください。

商品名	MODEL RT-618	
保証期間	※ お買い上げ年月日	1 年間
	年 月 日から	
※ お客様	ご住所	〒 TEL.
	氏名	様
※ 販売店	店名住所	TEL. 印

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

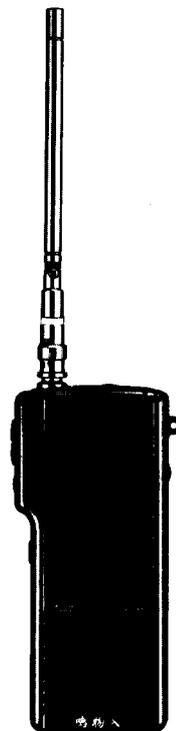
TEL 045(242)4375

 **MARUHAMA**

0.5~1300 MHz
ワイドバンドレシーバー

MODEL **RT-618**

取扱説明書



お買い上げいただき、まことに
ありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、
この取扱説明書をよくお読みにな
り、正しくお使いください。
また、お読みいただいた後は、
保証書とともに大切に保管して
ください。

1. 特長	1
2. 操作方法①	初級編
1. 名称とはたらき	2
2. ご使用になる前に	3
3. 操作方法	4
3. 各部の名称とはたらき	6
4. 操作方法②	中級編
1. 聴きたいチャンネルをダイレクトに受信する	9
2. 受信モードの設定	10
3. チャンネルステップの設定	10
4. ディレイ時間の設定	11
5. AM-SSBモードでの受信	11
6. パーソナル無線のデータ解読	12
7. アンテナについて	12
5. メモリー登録	
1. メモリーの構成	13
2. メモリー登録の方法	13
3. メモリーバンクの登録済みエリア	14
4. メモリー登録の操作方法	15
5. パスメモリーの登録	17
6. メモリーの編集	18
7. メモリーの消去	18
6. 操作方法③	上級編
1. メモリー登録したエリアをサーチする	19
2. グループ別にメモリー登録したチャンネルをスキャンする	19
3. メモリー登録したチャンネルをダイレクトに呼び出す	20
4. プログラムサーチ・スキャン	21
7. プライオリティ受信	22
8. 盗聴電波の受信	23
9. 使用上のご注意	24
10. 使用上の制限	24
11. 故障とお考えになる前に	25
12. 付属品の取付け方法	26
13. 主な仕様	27

■ 簡単操作の高性能受信機

情報受信機能をコンパクトボディに集約、ワイドな情報を超高感度でキャッチします。しかも、最新のハイテク技術を導入したマイクロコンピュータの採用と、液晶表示との対話方法により、操作はいたって簡単です。

■ 0.5～1300MHzの広帯域を高感度オールキャッチ

0.5～1300MHzの広帯域をフルカバー。さらにAM・FM-N・FM-W・AM-SSBの受信モードを搭載していますので、聴きたい情報を逃さずキャッチします。

■ 多彩で大容量のメモリーバンク

大容量のメモリーバンクを6ブロック(3バンク+3メモリー)に分けることにより、使用頻度や目的に応じてメモリー登録できます。その他、制御チャンネルなど不要なチャンネルをパスするチャンネルパスメモリーやプライオリティチャンネルメモリーを搭載しています。
→P13. メモリー登録を参照

	ブロック		メモリー数	メモリー
	メモリー バンク	バンク	A	10エリア(エリア登録済み)
B			10エリア(エリア登録済み)	警察無線・航空無線・短波など
AB			10エリア	
メモリー		A	100チャンネル(10CH×10グループ)	初期はメモリー無し
		B	100チャンネル(10CH×10グループ)	
		AB	600チャンネル	
	パスメモリー	500チャンネル	初期はメモリー無し	
	プライオリティ	1チャンネル(初期登録済み)		

■ 3電源方式により、いつでも・どこでも聴きたい情報をキャッチ

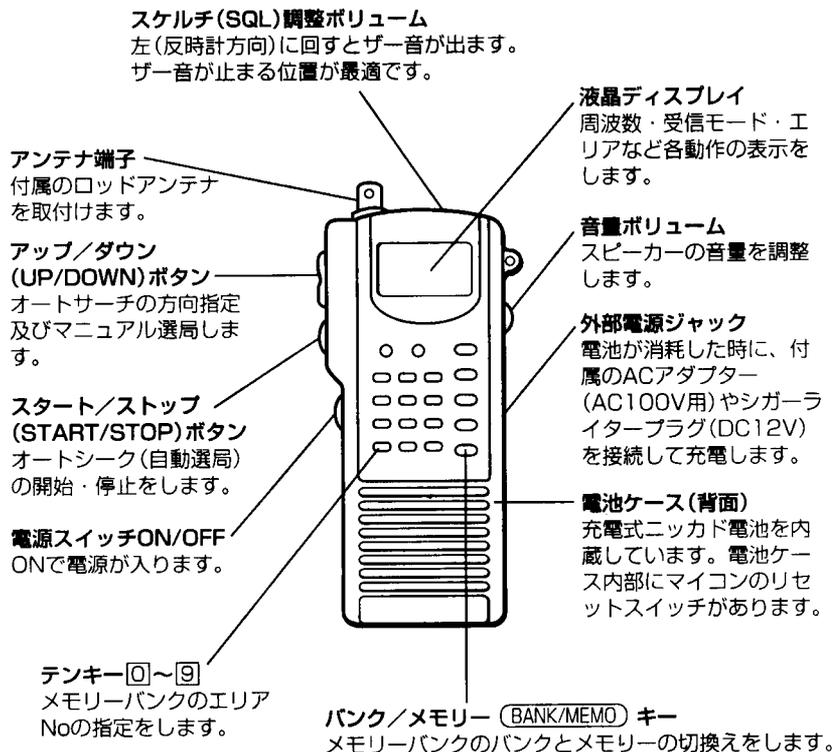
本体内蔵の充電式ニッカド電池パック+家庭電源用ACアダプター(AC100V)+自動車電源用シガーライタープラグ(DC12V)の3電源方式を採用しています。また、電池の交換は不要です。

■ その他の特長

- パーソナル無線のデータ解読
- 盗聴器発振電波の受信
- メモリーバックアップ機能

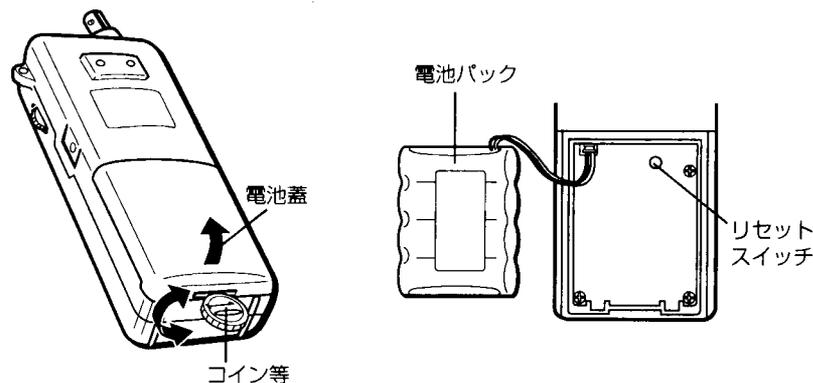
2. 操作方法① 〈基本操作〉

1. 名称とはたらき

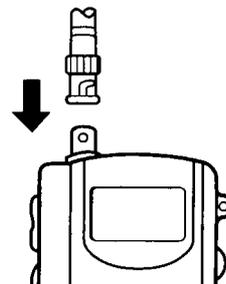


2. ご使用になる前に

- ① 内蔵のニッカド電池を充電します。電源スイッチが [OFF] になっているのを確認して
から、付属の AC アダプター (家庭用電源 AC100V) やシガーライタープラグ (自動車
用電源 DC12V) を外部電源ジャックに接続します。(充電時間 約12時間)
* AC アダプターやシガーライタープラグを接続したままでも、ご使用できます。
- ② 充電が完了したら本体背面の電池蓋をコイン等を使って外し、内部にあるリセット
スイッチを細い棒で押します。



- ③ アンテナ端子に付属のワイドバンド用ロッドアンテナを取付けます。
アンテナ端子の突起部とアンテナの溝を合わせて押し込み、1/4 回転回して固定し
ます。



3. 操作方法

〈聴きたいエリアをサーチする〉

メモリーバンクに登録済みのエリアを自動選局でサーチする。
メモリーバンクのバンクA及びバンクBにそれぞれ10エリアが登録されています。

エリアNo	BANK A	BANK B
1	NTT自動車電話基地局	自動車電話移動局
2	新電電系自動車電話基地局	署活系警察無線 (一部地域では受信できません)
3	コードレス電話・特定小電力トランシーバー	官公庁・道路公団・JR無線
4	テレビ音声 VHF/UHF	航空無線
5	FMラジオ放送	航空無線電話・マリネットホン
6	AMラジオ放送	ワイヤレスマイク・マスコミ無線
7	アマチュア無線	消防・救急・鉄道無線・マリバンド
8	MCA業務無線・JSMR無線	コンビニエンス・ラジオホン
9	パーソナル無線	短波
0	防災行政無線・パーソナル無線 (超ダウンモード)	盗聴器電波

署活系警察無線は一部地域でデジタル通信化されています。
デジタル通信は受信できません。

操作方法

(例) BANK [A] のエリア [1] に登録してある自動車電話(基地局)のエリアをサーチして聴く場合

- 1 電源を入れる
電源スイッチをONにすると、ディスプレイが表示します。
- 2 音量を調整する
音量ボリュームにより適度な音量にします。
- 3 スケルチを調整する
スケルチボリュームを回してザー音が止まる位置に調整します。
【ひと言】 スケルチボリュームを右(時計方向)に回し過ぎますと電波が弱い場合、受信できなくなることがあります。
- 4 BANK [A] を呼び出す
【BANK/MEMO】 キーにより、BANK [A] を呼び出します。
キーを押す度にBANK [A] → [B] → [AB] → MEMO [A] → [B] → [AB] の順に変わります。

- 5 エリアNo [1] を指定する
テンキーの [1] を押します。
エリアNoを指定すると、そのエリアの最初のチャンネル・受信モード・チャンネルステップ・ホールド/ディレイの表示がでます。

ディスプレイ表示

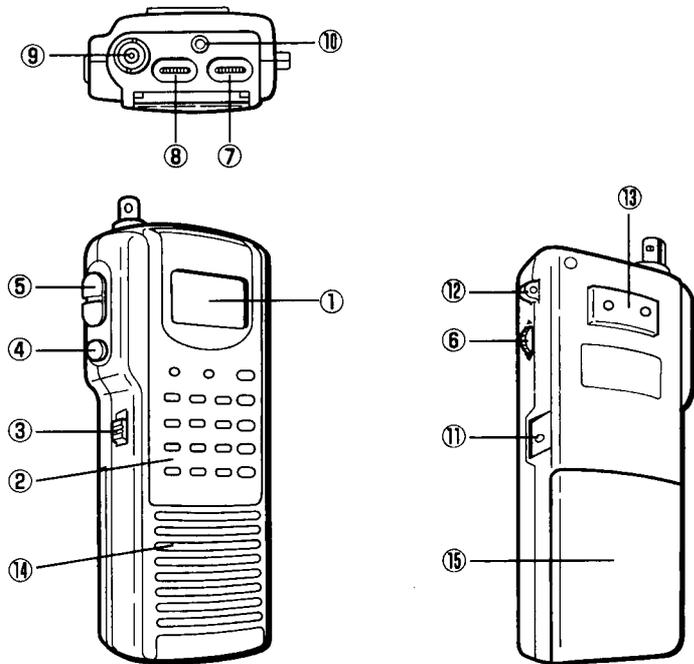


- 6 サーチを開始する
【START/STOP】 ボタンを押すと、ディスプレイに **▲** マークが点滅して、最初のチャンネルより上側にサーチを開始します。
- 7 チャンネルを受信する
使用しているチャンネルがあると、そのチャンネルでサーチを停止して受信状態になります。
- 8 受信中のチャンネルが終了または電波が非常に弱くなって受信できない場合は、次に使用しているチャンネルまでサーチを開始します。
【注意】 ディスプレイにHOLDを表示していたり、**▲** マークが消えている場合は、そのチャンネルで受信待ちになっています。(サーチしません) サーチさせる場合は、**【START/STOP】** ボタンを押します。
- 9 チャンネルを受信中に他のチャンネルをサーチしたい場合は、**【START/STOP】** ボタンを押します。
▲ マークが点滅して、次のチャンネルまでサーチを始めます。
- 10 マニュアル操作でエリア内をサーチする場合は、サーチが停止している時に **【UP】** または **【DOWN】** のボタンを押します。
【UP】 ボタンを押す度に1ステップずつ上側のチャンネルを受信し、
【DOWN】 ボタンを押す度に1ステップずつ下側のチャンネルを受信します。
オートサーチさせる場合は **【START/STOP】** ボタンを押します。

ちょっとひと言

- **HOLD(ホールド)とDELAY(ディレイ)**
ディスプレイに表示されるHOLDまたはDELAYとは、オートサーチまでの受信待ち時間条件のことです。HOLDは一度電波を受信すると、電波が無くなっても、そのチャンネルで受信待ちの状態になります。一方、DELAYは一定時間(設定された時間)受信待ちをした後、オートサーチを始めます。ディレイの時間は各エリアごとに設定し、メモリー登録されています。
- **キーロック(KEYLOCK)表示**
ディスプレイに **【KEYLOCK】** が表示している場合は、キー操作が何もできなくなります。**【LIGHT/KEY】** キーを2秒以上押すと、キーロックが解除されます。
- **バッテリーロウ表示**
ディスプレイに **【C】** マークが表示している場合は、電池が消耗していますので、付属のACアダプターやシガーライタープラグにより、充電をおこなってください。

3. 各部の名称とはたらき



① ディスプレイ (液晶表示)

周波数・チャンネルステップ・受信モード・エリアNoなどの表示と、各動作モードを表示します。

② キーボード

周波数・チャンネルステップなどを指定する数値キーとメモリー登録などの機能をもった機能キーがあります。

③ 電源スイッチ

電源をON/OFFします。

④ スタート/ストップ (START/STOP) ボタン

自動選局 (サーチ・スキャン) の開始及び停止をします。

⑤ アップ/ダウン (UP/DOWN) ボタン

自動選局の方向指定・マニュアル選局・メモリーチャンネルの検索などを行ないます。

⑥ ボリューム (VOL) ツマミ

スピーカー及びイヤホンの音量調整ボリュームです。MAX方向に回すと音量が大きくなります。

⑦ スケルチ (SQL) ボリューム

ノイズ スケルチの調整をします。左 (反時計方向) に回すとザー音が聞こえ、右 (時計方向) に回すとザー音がなくなります。ザー音が聞こえる直前の位置が最適です。

⑧ BFO ボリューム

受信モードがAM-SSBの時、音声周波数を調整します。

⑨ アンテナ端子 (BNCコネクタ対応)

付属のワイドバンド用アンテナを接続します。また、別売のアンテナ (BNC型) も接続できます。

⑩ イヤホン ジャック (EAR) ……φ3.5

付属のイヤホンを接続します。イヤホンを接続すると、スピーカーからは音が出ません。

⑪ 外部電源ジャック (CHG) ……DC12V

付属のACアダプターやシガーライタープラグを接続して外部電源を加えると、内蔵のニッカド電池に充電されます。ACアダプターやシガーライタープラグを接続する場合は、本体の電源スイッチを必ずOFFにしてから接続してください。

⑫ ハンドストラップ取付け部

付属のハンドストラップを取付けます。

⑬ ベルトクリップ取付け部

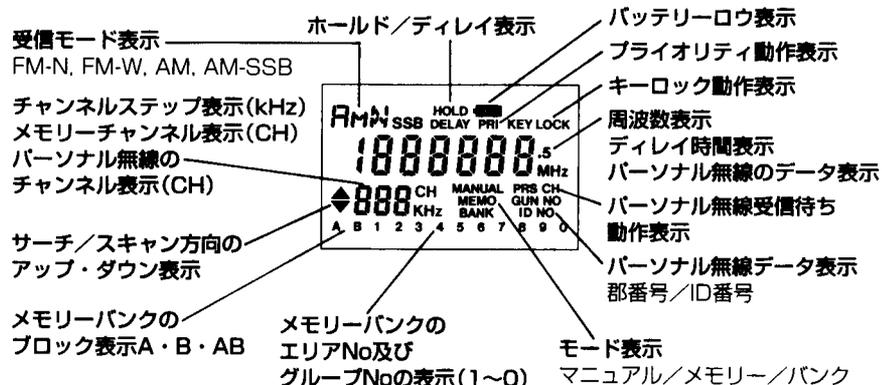
付属のベルトクリップを取付けます。

⑭ 内蔵スピーカー

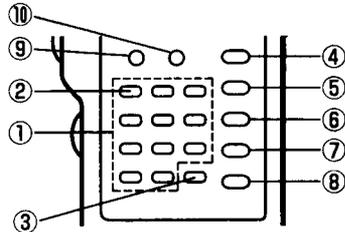
⑮ リセットスイッチ (電池ケース内部)

マイコンを初期化するスイッチです。初めてニッカド電池の充電をした後に、スイッチを押してください。

LCDディスプレイ



キーボード



- ① **数値キー** [1]~[0]、[●/CLEAR]
周波数・チャンネルステップ・エリアNo・グループNoなどを指定する時に使用します。
- ② **パーソナル・キー** [PERS]
パーソナル無線のデータ表示時間を変更するときに使用します。
- ③ **エンター・キー** [ENTER]
バンク/メモリーモード→マニュアルモードの変更をします。
- ④ **ファンクション・キー** [FUNC]
メモリーバンクやプライオリティチャンネルへメモリー登録するときに使用します。その他、パーソナル無線のデータ表示時間を変更するときに使用します。
- ⑤ **モード/パス・キー** [MODE/PASS]
受信モードの切換え及びパスメモリーの登録をします。受信周波数により、受信可能なモードのみ切換えができます。また、2秒間の押し続けにより、受信中のチャンネルをパスメモリーに登録します。
- ⑥ **ステップ/セット・キー** [STEP/SET]
チャンネルステップの切換え及びチャンネルメモリーの登録をします。受信周波数により受信可能なチャンネルステップのみ切換えができます。また、2秒間の押し続けにより、チャンネルメモリーの登録モードになります。
- ⑦ **ホールド/ディレイ・キー** [HOLD/DELAY]
サーチ・スキャンなどの自動選局時の受信待ち時間の設定をします。キーを押す度に、2秒→5秒→10秒→ホールドと変わります。ホールドにすると、受信したチャンネルで受信待ちの状態になります。
- ⑧ **バンク/メモリー・キー** [BANK/MEMO]
メモリーバンクのブロックの切換え及びマニュアルモード→メモリーバンクモードへの切換えをします。キーを押す度にBANK[A]→[B]→[AB]→MEMO[A]→[B]→[AB]の順に変わります。
- ⑨ **ライト/キーロック・キー** [LIGHT/KEY]
液晶ディスプレイのバックライトを一定時間点灯します。また、2秒間の押し続けによりキーロック動作となり、他のキー操作ができなくなります。(ディスプレイにKEYLOCK表示します) キーロックを解除する時は、再度2秒間押し続けます。
- ⑩ **プログラム/プライオリティ・キー** [PRO/PRI]
プログラムサーチ・スキャンをするときに使用します。また、2秒間の押し続けにより、プライオリティ受信の開始及び中止をします。

4. 操作方法②

〈聴きたいチャンネルをマニュアルで受信する〉

1. 聴きたいチャンネルをダイレクトに受信する

操作方法

(例) 871.0125MHzのチャンネルをダイレクトに受信する

- ① **マニュアルモードにする**
[ENTER]キーを押します。
ディスプレイに[MANUAL]を表示します。
- ② **周波数[871.0125]を入力します。**
テンキーにより、[8][7][1][●/CLEAR][0][1][2][5]を入力します。
入力ミスした場合は、[CLEAR]キーを2度押してから再度入力します。
- ③ **[ENTER]キーを押す**
キーを押すと設定したチャンネルで受信状態になります。
【ひと言】 [ENTER]キーを押すと、入力した周波数の小数点以下の桁がチャンネルステップと一致する様に自動補正されます。例えば、チャンネルステップが12.5kHzの場合871.011を入力すると、871.000になります。
- ④ **元のエリア指定に戻す場合は [BANK/MEMO] キーを押します。**

ディスプレイ表示



ちょっとひと言

- マニュアルモードにすると、エリア指定の範囲がなくなり、オールバンド(0.5~1300MHz)での受信ができます。
- マニュアル・アップ/ダウン選局及びオートシークもオールバンドで可能です。

2. 受信モードの設定

受信チャンネルにより、受信可能な受信モードを設定することができます。

(MODE) キーを押す度に、受信可能な受信モードを切換えます。

操作方法

(例) 受信チャンネル870.500MHzの受信モードをAMモードに設定する場合

① 受信チャンネル(870.500MHz)を呼び出す

マニュアル操作(操作方法①の⑩, P5)またはダイレクト受信(操作方法②, P9)により、受信チャンネルを設定します。870.500MHzの場合、初期の受信モード「FMN」を表示します。

ディスプレイ表示



② 受信モードを[AM]に設定する

(MODE/PASS) キーを押します。

キーを押す度に、受信モードが「FMN」→「FMW」→「AM」と切換わります。

ディスプレイ表示



③ 870.500MHzをAMモードで受信

ちょっとひと言

- 受信モードを変更した場合、音声が変わったり、受信できなくなることがあります。
- 受信モードはチャンネル(周波数)により、受信可能な受信モードが設定されています。例えば、76.100MHzの受信モードはFM-Wのみで設定されていますので、受信モードの変更はできません。

3. チャンネルステップの設定

受信チャンネルの範囲(エリア)により、受信可能なチャンネルステップを設定することができます。(STEP) キーを押す度に、受信可能なチャンネルステップを切換えます。

操作方法

(例) バンク[A]のエリアNo[1](自動車電話基地局)のチャンネルステップを6.25KHzに変更してオートサーチする場合

① バンク[A]のエリアNo[1]を呼び出す

「操作方法①の [操作方法] P4」をおこなってください。ディスプレイに初期のチャンネルステップ「12.5KHz」を表示します。

ディスプレイ表示



② チャンネルステップを[6.25]KHzに設定する

(STEP/SET) キーを押します。

キーを押す度に、チャンネルステップが「12.5」→「25」→「50」→「6.25」と切換わります。

ディスプレイ表示



③ オートサーチする

(START/STOP) ボタンを押します。

ちょっとひと言

- チャンネルステップを小さく(狭く)設定した場合は、エリア内を細かく受信することができます。また、大きく(広く)設定した場合は、エリア内を素早くサーチすることができます。
- チャンネルステップはチャンネル(周波数)により受信可能なチャンネルステップが設定されています。

4. ディレイ時間の設定

オートサーチ(自動選局時)の受信待ち時間を設定することができます。

(HOLD/DELAY) キーにより受信待ち時間を切換えます。

(HOLD/DELAY) キーを押す度に、ディレイ時間が2秒→5秒→10秒→HOLDの順に切換わります。

ディレイ時間を2秒に設定した場合は、受信を終了してから2秒後にオートサーチを開始します。また、HOLDに設定した場合は、最初に受信したチャンネルでオートサーチを中止して受信待ちの状態になります。

5. AM-SSBモードでの受信

受信モードがSSBを使って無線(船舶無線やアマチュア無線など)を受信する場合、他の受信モードで受信する場合とは違う操作になります。

SSBモードで受信する場合

- ① マニュアルUP/DOWNでの選局になります。
オートサーチ(自動選局)ができなくなり、(UP/DOWN) ボタンでの選局になります。
- ② BFO調整による受信となります。
音声周波数が同調する様に、BFOボリュームを調整します。

操作方法

(例) バンク[A]のエリアNo[7](アマチュア無線)をAM-SSBモードで受信する

① バンク[A]・エリアNo[7]を呼び出す

操作方法①をご覧ください。

② 受信モードを[AM-SSB]とする

(MODE/PASS) キーにより、受信モードを切換えます。

③ マニュアル選局により電波が出ているチャンネルを受信する

(UP/DOWN) ボタンにより、1ステップずつ受信して捜します。

④ BFOを調整して、音声周波数を同調させる

BFO調整ボリュームを回して、音声聴こえる様にします。

6. パーソナル無線のデータ解読

パーソナル無線において、受信チャンネルの郡番号及びID番号を*設定した時間ディスプレイに表示することができます。

* 初期設定は3秒になっています。

パーソナル無線のデータ待ちの時(ディスプレイに[PRSC CH]を表示している時)にパーソナル無線のチャンネルデータを受信した場合、チャンネルNoを表示し、郡番号(5桁)→ID番号(上6桁)→ID番号(下6桁)の順にデータを表示します。

データの表示時間を5秒に変更する場合は、

- 1 [FUNC] キーを押す
- 2 [1/PERS] キーを押す
キーを押すと、現在の設定時間を表示します。
- 3 [5]を入力する
テンキーの[5]を入力します。
- 4 [ENTER] キーを押す
[ENTER] キーを押すと元の状態に戻ります。

ちょっとひと言

- チャンネルデータの表示時間は0~9秒まで設定できます。
- マニュアルモードで受信する場合はチャンネルデータの表示はしません。

7. アンテナについて

本機は専用のロッドアンテナによりLOWバンドからHiバンドまで受信します。アンテナはバンド(周波数帯)により、長さが7段階に調整することができます。より良い受信をおこなう方法として、受信するバンドによりアンテナの長さを調整してください。

アンテナ調整の目安

バンド	100MHz以下 AM/FMラジオ放送 短波など	300MHz帯 署活系警察無線 コードレス電話など	900MHz以上 自動車電話 パーソナル無線など
-----	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

アンテナの長さ



5. メモリー登録

大容量のメモリーバンクを6ブロック(3バンク+3メモリー)に分けてメモリー登録ができます。

1. メモリーの構成

メモリーバンク	ブロック		メモリー数	メモリー登録
	バンク	A	10エリア(メモリー登録済み)	×
B		10エリア(メモリー登録済み)	×	(メモリー登録できません)
AB		10エリア	○	(エリア登録)
メモリー	A	100チャンネル(10CH×10グループ)	○	(グループ別に登録)
	B	100チャンネル(10CH×10グループ)	○	(グループ別に登録)
	AB	600チャンネル	○	
パスメモリー			500チャンネル	○
プライオリティ			1チャンネル(初期登録済み)	○

バンクA及びバンクBは、よく使用するエリアをそれぞれ10エリアに分けてメモリー登録済みです。

2. メモリー登録の方法

メモリーバンクへのメモリー登録は下記の3つの方法があります。

1. エリア(受信周波数範囲)でメモリー登録する。

メモリーバンクのバンク[AB]にメモリー登録します。
エリアNo[1]~[0]まで最大10エリア登録できます。→P15

エリアNo	バンクAB
1	○○○○○MHz~○○○○○MHz
2	△△△△△MHz~△△△△△MHz
3	
4	
9	
0	

2. チャンネル(受信周波数)をグループ別にメモリー登録する。

メモリーバンクのメモリー[A]及びメモリー[B]にメモリー登録します。
メモリー[A]・[B]とも、それぞれグループNo [1]~[0]まで10グループあります。
各グループはCH[0]~[9]まで最大10チャンネルメモリー登録できます。→P15

メモリーA・メモリーB					
グループNo	CHO	CH1	CH2	CH9
1	○○MHz	△△MHz			xxxx
2					
3					
4					
9					
0					

3. 受信中のチャンネルをそのままメモリー登録する。

メモリーバンクのメモリー[AB]にメモリー登録します。
メモリー登録された順番に最大600チャンネルまでメモリー登録できます。→P16

メモリーAB					
CHO	CH1	CH2	CH599	
○○MHz	△△MHz	xxxx			

3. メモリーバンクに登録済みエリア

バンク	エリア No	バンド	受信周波数 (MHz)	ディレイ 時間 (秒)	受信 モード	チャンネル ステップ (KHz)
A	1	NTT自動車電話基地局	870.0125~884.9875	2	FMN	12.5
	2	新電々系自動車電話基地局	843.0125~845.9875 860.0125~869.9875	2	FMN	12.5
	3	コードレス電話 特定小電力トランシーバー	380.2125~381.3125 421.575~422.800 440.0125~440.400	2	FMN	12.5
	4	テレビ音声(1~62CH) VHF・UHF	95.75~221.75 475.75~769.75	ホールド	FMN	6MHz
	5	FMラジオ放送	76.100~89.900	ホールド	FMN	100
	6	AMラジオ放送	0.504~1.629	ホールド	AM	9
	7	アマチュア無線	144.000~145.990 430.000~439.990	5	FMN	10
	8	MCA業務無線 JSMA無線移動局	834.0125~837.9875 850.025~859.975	2	FMN	12.5
	9	パーソナル無線	903.0375~904.9875 901.0375~902.9875 899.0375~900.9875	5	FMN	12.5
	0	防災行政無線 パーソナル無線 (超ダウンモード)	897.0375~898.9875 895.0375~896.9875 893.0375~894.9875 891.0375~892.9875 889.0375~890.9875	5	FMN	12.5
B	1	NTT及び新電々系 自動車電話移動局	898.0125~900.9875 915.0125~924.9875 925.0115~939.9875	2	FMN	12.5
	2	署活系警察無線	347.7125~350.100 361.100~362.250 ※デジタル通信は受信しません。	5	FMN	12.5
	3	官公庁・道路公団・JR無線	365.500~375.9875 381.400~399.9875 406.200~419.9875	5	FMN	12.5
	4	航空無線	118.000~141.950 225.000~347.000	5	AM	50 100
	5	航空無線電話 ・マリネットホン	830.0125~833.9875	2	FMN	12.5
	6	ワイヤレスマイク マスコミ無線	222.000~249.300 470.400~488.800 797.125~809.800 940.000~960.000	ホールド	FMW	50 50 12.5 100
	7	消防・救急・鉄道無線 マリンバンド	146.000~154.300 156.000~162.000	5	FMN	10 12.5
	8	コンビニエンス ラジオホン	815.0125~820.9875	2	FMN	12.5
	9	短波	2.000~29.995	ホールド	AM	5
	0	盗聴電波	134.000~442.900 の20チャンネル	ホールド	FMN	—

4. メモリー登録の操作方法

① エリア(受信周波数範囲)をメモリー登録する方法

〈バンクABにメモリー登録する〉

(例) 76.100~89.900MHzの範囲をバンク[A]のエリアNo[1]にメモリー登録する場合

1 (FUNC) キーを押す

2 BANK[A]を呼び出す

(BANK/MEMO) キーを押して切換えます

3 [1]を入力する

テンキーによりエリアNoを指定します

4 (ENTER) キーを押す

5 [76.100]を入力する

テンキーにより、下限周波数を指定します。

6 (ENTER) キーを押す

7 [89.900]を入力する

テンキーにより、上限周波数を指定します。

8 (ENTER) キーを押す

メモリー登録終了

ちょっとひと言

- エリアをメモリー登録する場合は必ず下限周波数を設定してから上限周波数を設定してください。
- 周波数の入力中に、受信モード・チャンネルステップ・ディレイ時間の指定ができません。

② チャンネル(受信周波数)をグループ別にメモリー登録する方法

〈メモリーA及びメモリーBにメモリー登録する〉

(例) 76.100MHzをメモリー[A]のグループNo[1]のチャンネルNo[2]にメモリー登録する場合

1 (FUNC) キーを押す

2 MEMO[A]を呼び出す

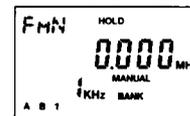
(BANK/MEMO) キーを押して切換えます。

3 [1]を入力する

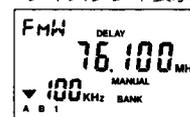
テンキーによりグループNoを指定します。

4 (ENTER) キーを押す

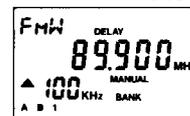
ディスプレイ表示



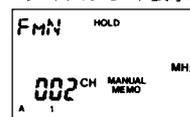
ディスプレイ表示



ディスプレイ表示



ディスプレイ表示



- ⑤ **[2]**を入力する
テンキーにより、チャンネルNoを指定します。
 - ⑥ **[ENTER]**キーを押す
 - ⑦ **[76.100]**を入力する
テンキーにより、チャンネル(受信周波数)を指定します。
 - ⑧ **[ENTER]**キーを押す
- ↓
メモリー登録終了

ディスプレイ表示



ちょっとひと言

- 各グループはそれぞれ最大10チャンネルまでメモリー登録できます。
- チャンネル(受信周波数)の設定中に受信モード及びディレイ時間の指定ができます。

③ 受信中のチャンネルをそのままメモリー登録する

<メモリーABにメモリー登録されます>

(例) 受信中のチャンネル76.100MHzを(チャンネルNo**[100]**CH)にメモリー登録する

- ① チャンネルを受信する
 - ② **[STEP/SET]**キーを2秒以上押す
 - チャンネルNoを指定する場合
 - ③ **[100]**を入力する
テンキーによりチャンネルNoを指定する
 - ④ **[ENTER]**キーを押す
- ↓
メモリー登録終了

ディスプレイ表示



ちょっとひと言

- チャンネルNoを指定した場合は指定されたチャンネルNoにメモリー登録します。チャンネルNoを指定しない場合は、メモリー登録した順番のチャンネルNoで登録されます。(ディスプレイにチャンネルNoを表示します)
- チャンネルNoは**[000]**CH~**[599]**CHまで600チャンネルあります。

メモリー編集について

メモリー**[AB]**に登録した後、使用頻度や目的に応じてグループ別にメモリー登録する(メモリー**[A]**及びメモリー**[B]**にメモリー登録する)と、簡単に呼び出すことができます。

→P18参照

5. パスメモリーの登録

制御チャンネルなど、受信に不要なチャンネルをパスメモリーに登録しておくと、オートサーチ中(自動選局中)は不要なチャンネルをパスします。

ご注意

パスメモリーの登録はバンク指定時(BANK **[A]**・**[B]**・**[AB]**)のみ登録することができます。

登録方法

① 不要なチャンネル(周波数)を受信する

② **[MODE/PASS]**キーを2秒以上押す

↓
ディスプレイに**[PASS]**及びチャンネルNo**[000CH]**を表示します。

ディスプレイ表示



パスメモリーに登録終了

- パスメモリーは最大500チャンネルまで登録できます。
- 登録した順番のチャンネルNo(000CH→001CH……499CH)でパスメモリーに登録されます。

パスメモリーの消去

パスメモリーへ登録したチャンネルを取り消す場合は下記のように操作します。

(例) パスメモリーのチャンネルNo**[5]**に登録したチャンネル(周波数)を取り消す場合

- ① **[FUNC]**キーを押す
 - ② **[MODE/PASS]**キーを押す
最後に登録したチャンネルを表示します
 - ③ **[005]**を入力する
テンキーにより取り消したいチャンネルNoを設定する
または、UP/DOWNボタンで検索する
 - ④ **[ENTER]**キーを押す
- ↓
取り消し終了

ディスプレイ表示



元の状態に戻すには

- ⑤ **[BANK/MEMO]**キーを押します

6. メモリーの編集

メモリー[A]に登録したチャンネルを使用頻度や目的に応じてグループ別に分類してメモリー登録(メモリー[A]及びメモリー[B]に登録)しておけば、簡単に呼び出すことができます。

編集方法

(例) メモリー[A]の100CHに登録したチャンネルをメモリー[A]のグループ1の2CHにメモリー編集する

- 1 MEMO[A]を呼び出す
BANK/MEMOキーにより切換えます
- 2 100CHを呼び出す
UP/DOWNボタンにより検索します。
- 3 FUNCキーを押す
- 4 MEMO[A]を呼び出す
BANK/MEMOキーにより切換えます。
- 5 1を入力する
テンキーによりグループNoを設定します。
- 6 ENTERキーを押す
- 7 2を入力する
テンキーによりチャンネルNoを設定します。
- 8 ENTERキーを押す
- 9 ENTERキーを押す
↓
メモリー編集終了

7. メモリーの消去

メモリーバンク・バスメモリー・プライオリティにメモリー登録された内容を全て消去し、初期の状態に戻ります。

操作方法

- 1 電源を切ります
電源スイッチを[OFF]にします
 - 2 [0]と[ENTER]キーを押し続けます。
 - 3 電源を入れます。
電源スイッチを[ON]にします。
- ↓
- メモリー消去

メモリーバンクのバンクA及びバンクBは消去されません。
プライオリティチャンネルは初期設定の350.100MHzに戻ります。

[0]キーと[ENTER]キーを
押したまま電源[ON]

メモリーの消去到約10秒かかります。
メモリーの消去中は何も動作しません。

6. 操作方法③

<メモリーを活用した受信方法>

1. メモリー登録したエリアをサーチする

バンクABにメモリー登録したエリアを呼び出してサーチする。

操作方法

(例) バンク[AB]のエリアNo1にメモリー登録したエリアをサーチする場合

- 1 BANK[AB]を呼び出す
BANK/MEMOキーを押して切換えます。
- 2 1を入力する
テンキーによりエリアNoを指定します
- 3 サーチする
START/STOPボタンを押す

2. グループ別にメモリー登録したチャンネルをスキャンする

メモリーA及びメモリーBにメモリー登録したチャンネルのグループを呼び出してスキャンする場合

操作方法

(例) メモリー[A]のグループNo1に登録したチャンネルを、スキャンする場合

- 1 MEMO[A]を呼び出す
BANK/MEMOキーを押して切換えます。
- 2 1を入力する
テンキーによりグループNoを指定します
- 3 スキャンする
START/STOPボタンを押す
チャンネルNo 0CH→9CHまでスキャンします。

3. メモリー登録したチャンネルをダイレクトに呼び出す

① メモリーA及びメモリーBにメモリー登録したチャンネルを直接呼び出す

操作方法

(例) メモリー[A]のグループNo[1]、チャンネルNo[2]にメモリー登録したチャンネルを受信する場合

- ① MEMO[A]を呼び出す
↓
[BANK/MEMO]キーを押して切換えます。
- ② [1]を入力する
↓
テンキーによりグループNoを指定します
- ③ 2CHを呼び出す
↓
[UP/DOWN]ボタンにより、グループ内のチャンネルを検索します。

② メモリー登録したチャンネルをマニュアルモードで直接呼び出す
(メモリーABにメモリー登録したチャンネルを呼び出す)

操作方法

(例) メモリー[AB]のチャンネルNo[100]にメモリー登録したチャンネルを受信する場合

- ① マニュアルモードにする
↓
[ENTER]キーを押します
- ② [100]を入力する
↓
テンキーによりメモリーABのチャンネルNoを指定します
- ③ [ENTER]キーを2秒以上押し続ける
↓
メモリーABの100CHのチャンネルを受信します。

4. プログラムサーチ・スキャン

メモリーバンクにメモリー登録された複数のエリア及びグループを順番にサーチまたはスキャンすることができます。

① 同じバンク内の複数のエリアをプログラムサーチする

(例) バンクAのエリアNo[2]、[4]、[6]を順番にオートサーチする場合

操作方法

- ① バンク[A]を呼び出す
↓
[BANK/MEMO]キーを押して切換えます
- ② [2]を入力する
↓
テンキーにより、最初のエリアNoを指定します
- ③ [PRO/PRI]キーを押す
↓
キーを押すとエリアNo[2]が点滅します
- ④ [4]と[6]を入力する
↓
テンキーによりエリアNoを指定します
- ⑤ [START/STOP]ボタンを押す
↓
オートサーチを始めます
エリアNo[2]→[4]→[6]の順番にオートサーチします。
オートサーチ中のエリアNoが点滅します。

プログラムサーチを中止する場合は [PRO/PRI]キーを押します。

② 同じメモリー内の複数のグループをプログラムスキャンする

操作方法

(例) メモリー[A]のグループNo[2]、[4]、[6]を順番にスキャンする場合

- ① メモリー[A]を呼び出す
↓
[BANK/MEMO]キーを押して切換えます
- ② [2]を入力する
↓
テンキーにより最初のグループNoを指定します
- ③ [PRO/PRI]キーを押す
↓
キーを押すとグループNo[2]が点滅します
- ④ [4]と[6]を入力する
↓
テンキーによりグループNoを指定します。
- ⑤ [START/STOP]ボタンを押す
↓
オートスキャンを始めます
グループNo[2]→[4]→[6]の順番にスキャンします
スキャン中のグループNoが点滅します

プログラムスキャンを中止する場合は [PRO/PRI]キーを押します

ちょっとひと言

サーチとスキャンの違い

自動選局の種類にサーチとスキャンがあります。

サーチとはエリア(受信周波数範囲)内のチャンネルをチャンネルステップにより検索します。一方、スキャンはチャンネル(受信周波数)のみの検索のことであり、メモリーバンクのメモリーに登録したチャンネルを自動検索します。

7. プライオリティ受信

他のチャンネルを受信中でも、プライオリティチャンネルの検索をおこない信号があれば優先受信します。

プライオリティチャンネルとして350.100MHz(速度取締り連絡波)が初期設定されています。また、プライオリティチャンネルを指定(登録)することができます。

操作方法

1. プライオリティチャンネルを指定(登録)する

(例) 76.100MHzをプライオリティチャンネルとして登録する場合

① **[FUNC]** キーを押す

② **[PRO/PRI]** キーを押す

キーを押すと、前に登録したチャンネルを表示します。

③ **[76.100]** を入力する

テンキーにより、チャンネル(周波数)を指定します。

④ **[ENTER]** キーを押す

↓
登録終了

チャンネル(周波数)の指定中に、受信モード及びディレイ時間の指定ができます。

ディスプレイ表示



2. プライオリティチャンネルを受信する

① **[PRO/PRI]** キーを2秒以上押し続ける

↓
ディスプレイに**[PRI]**を表示し、プライオリティチャンネルの信号検出を3秒間隔で開始します。

② プライオリティチャンネルに信号があれば受信状態になります。

③ プライオリティチャンネルの信号が終了すると、受信前の状態に戻ります。

④ プライオリティ受信を解除する場合は、**[PRO/PRI]** キーを2秒以上押しします

↓
ディスプレイの**[PRI]**の表示が消えます。

ちょっとひと言

- プライオリティチャンネルの信号検出時は、受信中の音声は3秒間隔で途切れますが、これは故障ではありません。
- プライオリティチャンネルの受信中に **[START/STOP]** ボタンを押すと信号が終了しても、そのまま受信待ち状態になります。

8. 盗聴電波の受信

無線式盗聴器の発振周波数は特定の周波数帯が使用されています。

無線式盗聴器の発振周波数

- ① FM放送帯 : 76~90MHz
- ② VHF帯 : 140MHz帯
- ③ UHF帯 : 400MHz帯

本機は、無線式盗聴器によく使用されているVHF/UHF帯の20チャンネルを*メモリー登録しています。

*メモリーバンク: バンク**[B]**のエリアNo**[C]**に登録済み

1. 盗聴電波の受信方法

バンク**[B]**のエリアNo**[C]**を呼び出してスキャンします。

操作方法は「操作方法①の**[操作方法]**」をご覧ください。→P4

2. 盗聴器の発見方法

盗聴電波を受信することにより、盗聴器を発見することができます。

発見方法

1. 盗聴電波の強い方(良く聴こえる方向)を調べます。
2. 電波の発振源(盗聴器)に接近するとハウリングが起こります。
数mの位置に近づくと「ワーン」と大きな音がします。
3. ハウリングが起きた場所を調べます。

9. 使用上のご注意

1. 本機は精密部品を多数搭載しています。

故障の原因になりますので、分解や改造はしないでください。
また、急激な衝撃や振動を加えないでください。

2. 本機の外部電源電圧はDC12Vです。

定格以外の電圧は絶対加えないでください。

3. 過充電にならない様にしてください。

ACアダプターなどの外部電源を接続したままでご使用になっている場合でも、
内蔵のニッカド電池に充電されます。
ご使用にならない場合は、ACアダプターなどの外部電源は外してください。

4. 雑音(ザー音)とは違う信号音で受信することがあります。

デジタル通信や制御チャンネル・音声秘話装置などを使用した通信を、音声で
受信することはできません。

*一部地域で署活系警察無線がデジタル通信化されています。
デジタル通信を受信することはできません。

5. 本機を高温・多湿になる場所や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。

故障や変形の原因になります。

6. テレビやラジオ・その他無線局からは離れた場所でご使用ください。

これらの機器の影響を受けることがあります。

10. 使用上の制限

電波法により、特定の相手方に対して行なわれる通信(無線及び電話)の内容や存在を第三者に漏らしたり、行動に移したりすることが禁止されています。
厳重に注意してください。

11. 故障とお考えになる前に

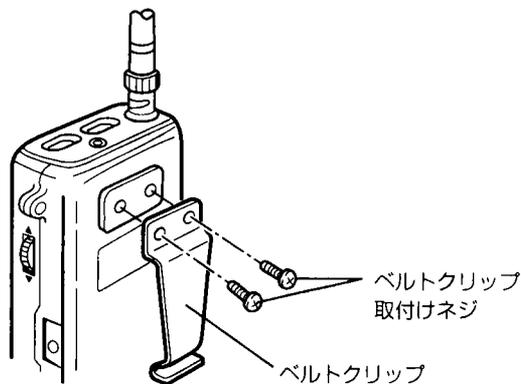
ご使用中に異常を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	① 電池が消耗している →充電してください (P3参照) ② 電源プラグが奥まで入っていない ③ 外部電源がきていない →他の機器が使用できるか確認してください
音がでない (受信できない)	① 電源が入っていない ② 音量レベルが低い ③ イヤホンが接続されている ④ スケルチボリュームが右(時計方向)に回り過ぎている →左(反時計方向)に回してください。
操作キーを押しても 動作しない	① KEYLOCK(キーロック)表示をしている →キーロックを解除する (P5参照)
サーチ・スキャンを しない	① スケルチボリュームが左(反時計方向)に回り過ぎている →右(時計方向)に回してください。
変な信号音がする	① 制御チャンネルやデジタル通信を受信している →故障ではありません。 音声での受信はできません
音声途切れる	① 電波状態が良くない →アンテナの方向を変える →アンテナの長さを変える (P12参照) ② PRI(プライオリティ)表示をしている →プライオリティ受信を解除する (P22参照)

12. 付属品の取付け方法

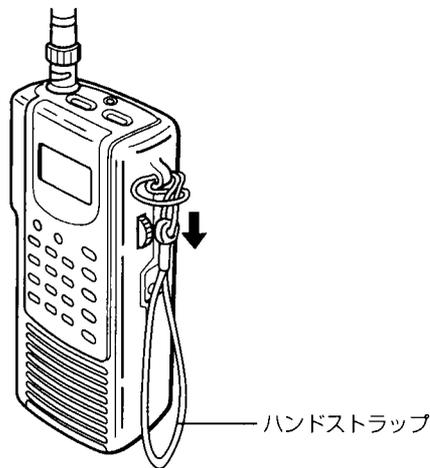
1. ベルトクリップの取付け

本体背面のベルトクリップ取付けネジを外し、ベルトクリップを取付けます。



2. ハンドストラップ取付け

本体のハンドストラップ取付け穴に図の様に通して取付けます。



13. 主な仕様

●受信周波数	0.5~1300 MHz
●受信電波型式	AM/FM-N/FM-W/AM-SSB
●周波数ステップ	1/3/5/6.25/9/10/12.5/25/50/100 KHz
●メモリー数	エリアメモリー 30エリア (20エリアは登録済み)
	チャンネルメモリー 800 チャンネル
	パスメモリー 500 チャンネル
	プライオリティ 1 チャンネル
●受信感度	FM-N 0.5 μ V 12 dB SINAD
	FM-W 1.0 μ V S/N 20 dB
	AM 1.0 μ V S/N 10 dB
	AM-SSB 1.5 μ V S/N 10 dB
●アンテナインピーダンス	50 Ω
●電源電圧	DC4.8 V 内蔵ニッカド電池パック
	DC12 V 外部電源
●消費電流	150mA (無信号時)
●動作温度範囲	-10 $^{\circ}$ C~+60 $^{\circ}$ C
●外形寸法	67(W) \times 34(D) \times 150(H)mm (突起部含まず)
●重量	280g (アンテナを含まず)

付属品

ワイドバンド用ロッドアンテナ	1本
ニッカド電池パック	1個 (本体に内蔵)
ACアダプター	1個 (AC100V用)
シガーライタープラグ	1個 (DC12V用)
イヤホン	1個
ハンドストラップ	1個
ベルトクリップ	1個

別売品

マグネット式車載アンテナ	MRA-5	定価 \yen 11,800
--------------	-------	------------------

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、
万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買
上げの販売店に修理を依頼してください。
3. つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店
以外修理された場合
(ロ)お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・
周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷
(ニ)保証書のご提示がない場合
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ